

## 岩トレ 丹沢：広沢寺の岩場

- ◆日程 2016年8月27日(土)
- ◆メンバー L：須田、雫、河野、牛込、佐藤俊、小山田
- ◆天候 曇りのち雨

予報は雨、午前中いっぱいもってくれば、という曇天でした。私は初めての外岩に登るとあって、天気まで気にする余裕もなし。駐車場を8時過ぎに出発、のんびり歩いて沢を渡り、すぐに弁天岩。

新品の靴とハーネス、お借りしたヘルメットを、オタオタと身に着け、須田Lが“ロープの結び方と収納”と書かれたコピー資料を配ってくださる。一生懸命読むけれども、いまは頭に入りません。基本的注意事項など、丁寧に教えていただき、エイトノットをできるまで練習。その間に河野さんののぼり、ロープをふ



たつ設置してくださる。なんとかむすべるようになり、上に須田Lが上がってくれ、とりあえず登る。思ったより登りやすい。手がかりも多いし、足元もそれなりにかけられる。怖くないといえば嘘になるが、時間がかかりつつもなんとか上までたどりつく。隣で佐藤さんと牛込さんが交互に登っているが、気にする暇がない。遅いながらも何度か登っては降りくりかえす。ローダウンで降りるのが、(怖がっているつもりはないのだが)腰がひけているのか、真っすぐ降りられず、身体が振れてしまう。

その後、懸垂下降の説明、実践。印象としてはローダウンよりも楽に降りられている気がした。雨が軽く降ったりやんだりしていたが、かろうじて天気はもっている。河野さんがザイルだけで下降する方法の、肩がらみ下降をやってみせてくださる。なにもなくてもザイルさえあれば降りられるってすごい。でも内股をひどく擦りそうです。

休憩をはさんでビレイのやりかたを教えてください。でも登っていくスピードが速すぎてロープを繰り出すほうの手が追いつかない。情けない。何度か登っては懸垂下降をしているうちに、雨がだいぶ降ってきてしまい、今日はここまで。

最後に河野さんが片手で結ぶことのできるブーリン結びで自分にザイルを回す方法を教えてください。いろいろと、懇切丁寧に教えていただき、安全かつたいへん楽しく学ぶことができました。ありがとうございました。

今回ヒルは見かけませんでしたが、靴を脱いだ須田Lの靴下に大きな血のシミが！ここでもヒルに好かれていたようです。

(記：小山田)